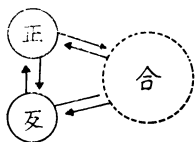


れている。

「私の人生観」¹⁴⁾に述べられている自然科学・宗教などの関係を弁証法の形式によって整理すれば、次の如く図示することができよう。



正……自然科学（旧，新物理学）
反……仏教（般若の理趣，清浄の法門）
合……大自然の真の「真」，宇宙意志

ここに仏教としたのは，狭義のものでなく東洋の思想の根源的なものを意味する。

図式に見られる（正）→（合），（反）→（合）へは，直観とか真覚またはアウフヘーベンによって達しられる。逆に（合）→（正），（反）へは，禅機によっている如くに解せられる。

藤原博士が，更に10年の歳月を渦巻に取り組まれたならば，どう云う結論が生まれ出たろうか。推測の域を出ないことであるが，恐らく独特な科学的宗教観に根ざす，渦動的な人生観が完成されたのではなかろうか。

渦動論は，科学的世界観であることはもち論である

が，また宇宙の意志に根ざす人生観であったとも云えるのである。

参考文献

- 1) 気象ノート (1948) 序
- 2) 太陽観測に依る般若心経の実証 (1936) 仏教文化，巻10，30.
科学と宗教 (1947) 大法輪，7月
卍象徴の科学性 (1947) 大法輪，11月
仏神一如 (1949) 大法輪，3月
- 3) 生みの悩み (1946) p. 207~211.
- 4) 群渦 (1950) p. 267~293.
- 5) 同上 (1950) p. 267.
- 6) 生みの悩み (1946) p. 212.
- 7) 同上 (1946) p. 213.
- 8) 平等と死差別と生との対応及渦巻特性，思想 (1922) 7月
- 9) 仏教文化 (1936) 巻10，30.
- 10) 中央気象台欧文報告 (1923) 3，5.
- 11) 地渦，地裂及地震 (1932) p. 2.
- 12) 平等と死差別と生との対応及渦巻の特性，思想 (1922) 7月
- 13) The Vortex Motion, Law of Equality and Inequality, the Principle of Birth, Growth and Death. (1951) Met. Geophys., 22, 4.
- 14) 生みの悩み (1946) p. 217.

理事会だより

第22回 (13期) 常任理事会議事録

日時：昭和41年3月10日 (木) 16~19時

場所：気象庁観測部会議室

出席者：畠山，北岡，神山，岸保，桜庭，須田，今井，大田，吉野，小平，安藤各理事 (順序不同)

議決：

1. 第14期選挙管理委員は多賀(長)，惣島，奥山，久保木，市村，広田の各会員に依頼し事務所は気象庁統計課内におくことを承認する。
2. 地球物理研連の気象分科会の委員には，全国理事の選挙の結果にもとづき，次の10会員を本学会から推せんすることを承認する。
磯野，神山，荒川(秀)，孫野，山本，正野，山元，沢田(龍)，岸保，北岡 以上の10会員。
3. 中浅測器より寄贈のあった30万円については，藤原賞の基金として，当学会の会計に繰り入れることを承認するが，その経緯にかんがみて気象庁観測部

長の了解をえるものとする。

4. 気象集誌担当の今井理事の転勤に伴い，新役員の決定までの期間，当該担当理事を桜庭理事に依嘱する。なお，新役員の選出も迫っているので，今井理事の補充は行わない。
5. 昭和41年度気象学会賞・藤原賞については，選考委員会の報告にもとづき，全国理事にこれをはかった上で決定する。
6. 佐藤順一会員が多年にわたり学会のために尽力された功労にかんがみて，昭和41年度の総会で当学会の名誉会員に推せんすることを承認する。今後の問題もあるので，名誉会員としての適格規準案を庶務担当理事で作成して次の理事会にかけ検討する。
7. 郵便料金ならびに印刷費の値上りにもとない会費の値上げ案を昭和41年度の総会に提出する方向で検討する。